

令和7年度 夏の造形研修会＜研修内容＞ 8月1日(金)

主催：名古屋市造形教育研究会

第1部 公開模擬授業 【13:00～】

参観される先生方に児童・生徒役になってもらい、授業に参加していただきます。

研修会テーマ

『 学びのコンパスに即した これからの図工・美術の授業づくり 』

○小学校低学年 授業者：花井聡一郎（福田小）
「すきまちゃんの すきな すきま」（小1）
【学びのコンパス】「自分に合ったペースや方法で学ぶ」

○小学校高学年 授業者：山田祥太郎（楠小）
「水から発見 ここきれい！」（小5）
【学びのコンパス】「多様な人と学び合う」

○中学校 授業者：井本 由加（白山中）
「水墨画を描いて短編アニメーションにしよう」（中2）
【学びのコンパス】「多様な人と学び合う」

☆ 授業のポイント

- 学びのコンパスの要素を取り入れる
- 身に付けさせたい力を明確にする
- 着目させたい造形的な特徴を明確にする

第2部 アイデアミニ講座 【14:20～】

○小学校低学年 講師：大島 聖矢（明正小） エコキャップであそぼう！
エコキャップを活用した造形遊びを体験し、育てたい資質・能力や評価の在り方について学ぶ。

○小学校高学年 講師：佐々木めぐみ（広見小） 「行為」を通して材料と向き合うミニ題材
紙バンドを切る、曲げる、裂くなど様々な行為で加工し、「ビビッとアートコレクション」をつくる。感覚を働かせて、意味や価値をつくりだすことを学ぶ。

○中学校 講師：石谷和佳子（森孝中） 対話から生み出す模様を楽しむ造形活動
様々な模様が描かれた正6面体を、グループで並べたり、積んだりして組み合わせの模様を楽しみながらつくる。多様な人と対話・協働する意義を学ぶ。

第3部 造形講演会 【15:10～】

演題 「 これからの造形教育を考える 」

【 講 師 】

元文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官
東京家政大学大学院 人間生活学総合研究科
造形学専攻 教授 岡田 京子 氏



「ナゴヤ学びのコンパス」をよりいっそう推し進めるために「個別最適な学び」「協働的な学び」をいかに取り入れ、子どもたちの可能性を引き出していくか、具体的な実践例を紹介していただきながら、ご講演をいただきます。ぜひご参加ください。